

「文化・交流・人づくり」によるまちづくりの拠点を創る

計画の基本方針

- 安心できる場所  
屋内外の動線上、誰もがわかりやすく安全な施設構成とします。  
また、災害時の地域の避難場所としての性能も確保します。
- 使いやすい場所  
多様な活動へ対応できるフレキシブルな室の構成を図ります。  
音響/展示に最大限配慮した建築/設備計画とします。
- 心地よい居場所  
ずっとそこに居たくなるような、気持ちのよい空間を創ります。  
地域の拠り所であり、風景を創れる内外観を目指します。
- 風土に馴染んだ場所  
エネルギーやメンテナンスのなるべくかからない建物とします。  
雪や風に十分配慮した建物構成を図ります。

配置計画



建物は広場に対し、大きく羽を広げた形で、風景と活動を取り込む

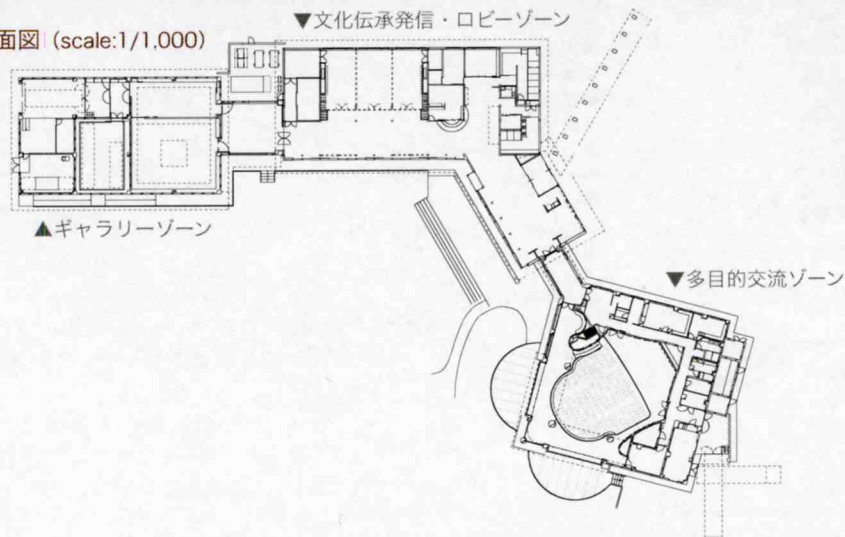


空間コンセプト



\*交流回廊  
・動線としての廊下を超えた、各機能を「つなぐ」空間  
・展示空間にも活用  
・人が滞留できるような雰囲気

平面図 (scale:1/1,000)



- 多目的交流ゾーン (609.315㎡)  
舞台/客席 (200席~300席程度・可動式) / 楽屋1,2/調整室/湯沸室/男子・女子トイレ/コインロッカー室/物品庫/ピアノ庫/倉庫/搬出入口/トラックヤード/空調機械室

- 文化伝承発信・ロビーゾーン

設計のプロセス

2006

8 設計プロポーザル



町作成の「基本計画書」に基づき提案



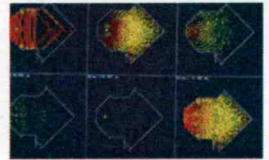
9 町との協議  
運営検討委員会との協議



10 運営管理  
県外文化施設視察への同行



11 ランドスケープ



永田音響設計  
音響計画

ホールの形状



詳細検討

公益施設検討委員会への  
参加・協議

全体調整



12 基本設計書

空間検討

2007

3 実施設計書

法規対応

6 コスト対応

確認申請 施工者決定

9 着工

(仮称) 白鷹町文化交流センター



(仮称) 白鷹町文化交流センター 施設概要

- 名称 (仮称) 白鷹町文化交流センター
- 所在地 山形県西置賜郡白鷹町大字鮎貝仮換地24街区1番外
- 建築主 白鷹町
- 主な用途 集会場、美術館
- 工事種別 新築
- 設計・監理 本間利雄設計事務所+地域環境計画研究室  
(白鷹町主催の設計プロポーザルにて決定)
- 設計期間 平成18年8月末～平成19年3月末
- 施工 那須・丸ト特定建設共同企業体
- 工事期間 平成19年8月6日～平成20年12月10日
- 主体構造 鉄筋コンクリート造、木造、鉄骨造
- 基礎
- 規模 地上1階建て
- 面積 最高の高さ 13.77m
- 敷地面積 23,346.00㎡
- 建築面積 1,963.03㎡
- 延床面積 1,819.67㎡
- 主な外部仕上げ
- 屋根 フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板t=0.4mm横長尺葺
- 外壁 コンクリート化粧打ち放し下地超耐候性水性無機質塗装
- 主な内部仕上げ
- 天井 石膏ボード、岩綿吸音板
- 壁 石膏ボード、ラワン合板荒目クロス張り、杉化粧格子
- 床 カルパ付き複合フローリング、コンクリート金ゴテ防塵塗装

白鷹町  
本間利雄設計事務所+地域環境計画研究室